

令和 7 年度那珂市下水道事業報告について

○新設管路整備事業（公共下水道事業）

令和 7 年度の公共下水道管路施設整備につきましては、主に後台・後台富士山の 2 地区を行い、施工延長は 3, 3 6 0 mになります。

▶令和 7 年度事業費

(単位：千円)

	事業費計	備 考
委託費	118,250	工事設計等
工事請負費	619,152	管路布設等 L = 3,360m
補償費	16,302	水道移設等
合 計	753,704	

▶令和 7 年度下水道整備状況

項 目		備 考
全体計画面積	2,795.9ha	令和 6 年度末 2,795.9ha
認可区域面積	1,813.5ha	
整備済面積	1,639.0ha	令和 6 年度末 1,619.1ha
整備率	90.4%	整備率（整備済/認可区域）

○合併処理浄化槽補助事業

▶令和 7 年度補助実績

※（）：当初予算基数

新規	転 換		更新	合計
	単独処理浄化槽	くみ取り槽		
24 基 (20 基)	8 基 (30 基)	9 基 (10 基)	1 基 (5 基)	42 基 (65 基)

○汚水処理人口普及率（令和 7 年度末）

汚水処理人口（人）				行政人口 （人）	汚水処理人口 普及率（%）
公共	集排	合併 浄化槽	合計		
31,559	6,857	8,496	46,912	52,370	89.58

※汚水処理人口普及率 = $\frac{\text{公共・集排・合併浄化槽の汚水処理人口の合計}}{\text{行政人口}}$

○下水道事業の経営状況について

【各事業の令和7年度決算額（税込）】

資本的収入が資本的支出に対して不足する額は、収益的収支で生じる内部留保資金などで補てんしました。

▶公共下水道事業

収益的収支（維持管理に係る収支）

（単位：千円）

下水道事業収益	1,311,596
営業収益	537,781
営業外収益	773,815
下水道事業費	1,209,048
営業費用	1,094,549
営業外費用	114,500
特別損失	0
予備費	0

※四捨五入のため、合計が異なる場合があります。

資本的収支（建設改良に係る収支）

（単位：千円）

資本的収入	959,718
企業債	580,300
他会計負担金	12,945
他会計補助金	136,019
国庫補助金	145,000
県補助金	500
工事負担金	84,954
資本的支出	1,420,048
建設改良費	807,204
企業債償還金	612,844

▶農業集落排水整備事業

収益的収支（維持管理に係る収支）

（単位：千円）

下水道事業収益	464,750
営業収益	87,432
営業外収益	377,318
下水道事業費	451,196
営業費用	410,292
営業外費用	40,901
特別損失	3
予備費	0

※四捨五入のため、合計が異なる場合があります。

資本的収支（建設改良に係る収支）

（単位：千円）

資本的収入	123,471
他会計負担金	59,754
他会計補助金	20,790
県補助金	0
工事負担金	5,660
投資	37,267
資本的支出	319,977
建設改良費	46,904
企業債償還金	273,073
投資	0

【参考】各収益・費用の主な内容

営 業 収 益：下水道使用料

営 業 外 収 益：一般会計繰入金・長期前受金戻入

営 業 費 用：維持管理費・減価償却費

営 業 外 費 用：支払利息

【経営指標による分析】

▶公共下水道事業

	令和7年度	令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度
経常収支比率	105 %	105 %	104 %	104 %	122 %
経費回収率	100 %	100 %	100 %	100 %	100 %

経常収支比率 $\geq$ 100%→令和7年度の収支は黒字

経費回収率 $\geq$ 100%→使用料で回収すべき経費はすべて使用料収入で賄えています。

▶農業集落排水整備事業

	令和7年度	令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度
経常収支比率	103 %	105 %	108 %	103 %	102 %
経費回収率	57 %	57 %	64 %	62 %	54 %

経常収支比率 $\geq$ 100%→令和7年度の収支は黒字

経費回収率 $<$ 100%→使用料で回収すべき経費は使用料収入だけでは賄えず、使用料以外の収入（一般会計繰入金）も投入することで賄われています。

【企業債残高】

▶公共下水道事業：前年度より企業債残高が減少

企業債発行額の抑制に努めており、企業債残高は減少しています。

▶農業集落排水整備事業：前年度より企業債残高が減少

令和元年度で整備が終了し、新規の企業債発行がないため企業債残高は減少しています。

（単位：円）

決算年度	公共下水道事業 企業債残高	前年度差額	農業集落排水整備事業 企業債残高	前年度差額	計	前年度差額
平成27年度	10,564,998,000	148,461,000	4,054,824,000	197,840,000	14,619,822,000	346,301,000
平成28年度	10,503,616,000	-61,382,000	4,268,806,000	213,982,000	14,772,422,000	152,600,000
平成29年度	10,520,425,000	16,809,000	4,308,442,000	39,636,000	14,828,867,000	56,445,000
平成30年度	10,406,401,000	-114,024,000	4,549,092,000	240,650,000	14,955,493,000	126,626,000
令和元年度	10,405,243,000	-1,158,000	4,666,577,000	117,485,000	15,071,820,000	116,327,000
令和2年度	10,201,478,284	-203,764,716	4,575,668,234	-90,908,766	14,777,146,518	-294,673,482
令和3年度	10,092,808,466	-108,669,818	4,391,440,328	-184,227,906	14,484,248,794	-292,897,724
令和4年度	9,926,138,795	-166,669,671	4,132,300,732	-259,139,596	14,058,439,527	-425,809,267
令和5年度	9,806,729,801	-119,408,994	3,870,064,249	-262,236,483	13,676,794,050	-381,645,477
令和6年度	9,824,056,790	17,326,989	3,595,836,194	-274,228,055	13,419,892,984	-256,901,066
令和7年度	9,791,512,488	-32,544,302	3,322,763,242	-273,072,952	13,114,275,730	-305,617,254

○下水道への接続状況について

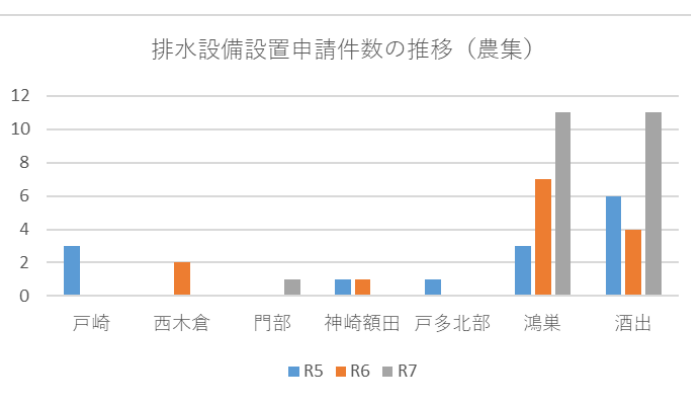
▶令和7年度早期接続促進事業（キャンペーンを含む）の申請件数

	申請(件)
公共	78
うち供用開始3年以内	34
うち供用開始3年超	44
農集	25

▶排水設備設置申請件数の推移

(単位：件)

区分	R5	R6	R7
公共	89	68	76
戸崎	3	0	0
西木倉	0	2	0
門部	0	0	1
神崎額田	1	1	0
戸多北部	1	0	0
鴻巣	3	7	11
酒出	6	4	11



▶農業集落排水の地区別接続率の推移

(単位：%)

地区	供用開始年度	R6	R7
戸崎	平成6年度	98.89	98.88
西木倉	平成8年度	93.89	94.29
門部	平成11年度	91.62	91.25
神崎額田	平成15年度	91.68	92.12
戸多北部	平成16年度	82.40	82.57
鴻巣	平成28年度	78.17	80.11
酒出	令和2年度	54.30	57.71
計		84.19	85.27

$$\text{接続率 (水洗化率)} = \frac{\text{接続済人口}}{\text{供用開始区域内人口}}$$